

12月8日大阪市会「建設港湾委員会」傍聴

昨日8日13時から開催された大阪市会「建設港湾委員会」を傍聴した。11月21日に提出した私の陳情書が審査されるからだ。6日の都市経済委員会と同様、付託審査案件の審査に続いて、陳情書の審査が行われた。

私が提出した陳情183号、事業者のいない大阪IR「環境影響評価準備書」説明会と条例見直しを求める陳情書について。環境局の理事は大阪市環境評価条例11条2項を説明して、運営方法は事業者によるものとしており、条例を改正する必要はないという答弁。説明会の主催者で事業者が参加していない説明会で、説明責任を果たせるのか、この機会に条例改正を検討すべきと質したのだが。

同じく陳情182号、夢洲土地造成事業収支の健全化と夢洲の物流機能維持を求める陳情書に対して、港湾局長は埋立会計の資産残高が現在557億円あり、令和57年度においても資金不足は生じない。夢洲の物流機能について、万博中も機能を低下させないと答弁。現在でも渋滞が問題になっているのに、IRカジノ関連の工事も加わり、本当に物流機能が維持できるのだろうか。

見解表明のあと質疑に移り、此花区選出の公明委員が陳情182号に関連して、万博工事とIR工事が同時進行するなかで、実際にコンテナターミナルなど物流機能が維持できるのか。今でも混雑している梅香交差点など渋滞が危惧される。万博工事中に容量オーバーの場合、IR工事車両を減らすべきと指摘。万博開催中には、さらに容量オーバーして混乱するのではないかと指摘。

休憩後、私の陳情書に対する質疑は、共産委員が夢洲の土地造成事業収支やIR関連工事車両について質問したが、質疑の多くは陳情166号の大阪市内全域路上喫煙禁止方針に関する陳情書、199号の「公園樹・街路樹の安全対策事業」における“倒木などのリスクの低い樹木”伐採延期を求める陳情書に集中した。前者について、質疑を聞いていて違和感を覚えた。万博開催の2025年1月までに喫煙場所確保が主張され、健康維持のため禁煙に向けた取り組み、喫煙施設に対する補助金についても疑問に感じた。

公園樹・街路樹の安全対策事業については、前にも本委員会を傍聴したこともあり、建設局緑化課長との質疑に注目した。要は街路樹や公園樹の安全対策事業の検証・評価に関わり、ヒートアイランド対策や緑化行政のあり方を問う質疑であった。大阪市の「緑化対策」が、樹木伐採に傾斜していることを危惧する。

陳情書の採択に移り、維新は私の183号は不採択であとは引き続き審査、公明と自民はすべて引き続き審査、共産はすべて採択。起立採決の結果、維新が過半数を占めるので、183号は不採択、その他は引き続き審査であった。8日の都市経済委員会でも、私の万博見直しと万博と競合するIR工事中止を求める陳情書は不採択になった。維新はIR関連の陳情には不採択の方針のようだ。陳情について、またレポートしたい。

(2023年12月9日)